

1 「沼田市のリサイクル活動について」

ただいまの ^{いつき} 齋 ^{はやた} 颯太 議員のご質問にお答え申し上げます。

齋議員が通っている薄根中学校では、P T Aと生徒が主体となって、年に2回の ^{ゆうかぶつ}「有価物集団回収事業」に取り組み、地域と共にリサイクル活動を積極的に行い、ごみ減量化や資源の有効活用に努めていただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、「沼田市のリサイクル活動について」であります。本市では、分別収集の周知徹底や ^{ゆうかぶつ}有価物集団回収奨励事業を推進することにより、市民のみなさんの資源リサイクルへの意識を高めていただくとともにごみの減量化を推進しております。

また、これまで「ごみ」として処分していたものも「資源」として活用するため、回収品目を増やすとともに、広報紙や回覧などのほか、携帯電話アプリを活用するなど、周知方法にも工夫をしております。

今後は、燃やせるごみの中に含まれるたくさんの紙類、例えばお菓子

の箱など、資源となるものの分別をさらに徹底していただきたいと考えております。

薄根中学校のリサイクル活動で回収量が減ってきているとのことでしたが、商品の包装やパッケージの工夫などにより資源ごみ自体が減少する傾向にあることに加え、市民のみなさんのリサイクル意識が向上し、スーパーのリサイクルボックスを利用したり、資源としてごみステーションへ排出するなどの積極的な取り組みが大きな成果を上げていると考えております。

沼田市では、平成27年度から市役所など市内8カ所に設置した回収ボックスで携帯電話やデジタルカメラ、電源ケーブルなどを回収する小型家電リサイクルに取り組んでおり、2020年東京オリンピック・パラリンピックのアスリートに贈るおよそ5,000個のメダルを、小型家電から抽出したリサイクル金属で製作する「都市鉱山からつくる みんなのメダルプロジェクト」にも参加しています。このプロジェクトは、資源の有効活用によって持続可能な社会を築くシンボリックな事業ですが、これからの社会を担っていく皆さんひとりひとり

の努力によって初めて実現する大きな目標でもあると考えております。

以上申し上げます、^{いつき} 齋 ^{はやた} 颯太議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。